

奈良県の経済動向の概要(令和4年2月)

別紙

統計分析課

奈良県の主要経済指標の動き(対前年同月比)

指標名	消費		生産	投資
	百貨店・スーパー 販売額【全店】	新車販売台数	鉱工業生産指数	新設住宅着工戸数
10月				
11月				
12月				
1月				
最新月の動き	▲4.0% 7か月連続で減少	▲20.8% 7か月連続で減少	▲7.6%【前月比】 4か月ぶりに低下	▲2.7% 2か月連続で減少

指標名	投資	金融	雇用	
	建築着工床面積	国内銀行貸出残高	有効求人倍率 【就業地別】	新規求人倍率 【就業地別】
10月				
11月				
12月				
最新月の動き	3か月後方移動平均 11か月連続の減少	▲1.3% 6か月連続の減少	▲0.07ポイント【前月比】 2か月連続で減少	0.34ポイント【前月比】 3か月ぶりに増加



※生産・雇用は前月比

(参考)各機関の景気基調判断(総括)

	前回公表分	最新公表分
奈良財務事務所 「奈良県内経済情勢報告」	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している。【10月公表分】	県内経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している【1月公表分】
内閣府 「地域経済動向」【近畿】	新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、一部で弱さが増している。【8月公表分】	新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が徐々に緩和されつつあるものの、持ち直しの動きに弱さがみられる。【12月公表分】
近畿経済産業局 「管内経済動向」	足踏み状態となっている。【1月公表分】	足踏み状態が続いている。【2月公表分】
日本銀行大阪支店 「関西金融経済動向」	関西の景気は、消費等への新型コロナウイルス感染症の影響が和らぐも、全体として持ち直している。【1月公表分】	関西の景気は、消費等への新型コロナウイルス感染症の影響がみられているものの、全体として持ち直し基調にある。【2月公表分】
内閣府 「月例経済報告」【全国】	景気は、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が徐々に緩和される中で、このところ持ち直しの動きがみられる。【1月公表分】	景気は、持ち直しの動きが続いているものの、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が残る中で、一部に弱さがみられる。【2月公表分】